

神奈川県議会議員

川崎 修平

(横浜市鶴見区選挙区)

活動レポート Vol.18

〈編集・発行〉川崎修平事務所／自民党鶴見区第一支部
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 1-13-9-101
TEL 045-642-6322 FAX 045-642-6661

令和 6 年第 1 回定例会 代表質問に登壇

令和6年2月20日（火）。神奈川県議会「令和6年第1回定例会」において川崎修平が代表質問を行いました。代表質問とは、党・会派の理念や政策を踏まえ、党・会派を代表して知事や教育長、警察本部長に対して県政全般について質問を行うことです。質問内容をご紹介しますので、是非ご一読ください。

1 県がめざす姿に向けた新たな取組について

- (1) 科学技術政策の推進について
- (2) 超高齢社会に対応した在宅医療の充実強化について
- (3) 行政課題の解決に資するベンチャー支援について
- (4) 障がい者雇用の促進に向けた取組について
- (5) 児童福祉法改正を踏まえた対応について
- (6) ケアリーダーに対する自立支援の強化について



2 デジタル化により新たな付加価値を生み出す取組について

- (1) 県庁におけるオープンデータの取組について
- (2) マイナンバーカードに関する取組について
- ア マイナンバーカードの保険証利用について
- イ マイナンバーカードへの運転免許証の一体化の法施行に向けた取組について



3 県政の諸課題について

- (1) 本庁庁舎のセキュリティ対策について
- (2) 国際園芸博覧会の取組について
- (3) PFOS及びPFOAへの対応について
- (4) 盛土対策の取組について
- (5) 教育に関する機運のさらなる醸成について
- (6) 県警察の脱炭素化の取組について



代表質問の様子は県の HP でも公開されています。ご興味のある方は、PC から下記手順で進んでいただくか、スマートフォンで QR コードを読み込んでご覧ください。

【PC での閲覧方法】 神奈川県 HP ▶ 県議会 ▶ インターネット議会中継 ▶ 録画映像「本会議」
▶ 令和 6 年第 1 回定例会（2 月～3 月）▶ 2 月 20 日（火）代表質問 川崎修平



2023 年ドーハ国際園芸博覧会 視察



3 月下旬。カタール国ドーハ アルビッドパークで開催されている 2023 年ドーハ国際園芸博覧会に視察へ行っていました。

国際園芸博覧会（花博）とは、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に、オランダのハーグ市にある国際園芸家協会（AIPH）の認定を受けて開催される国際的な博覧会で、2023 年ドーハ国際園芸博覧会は、砂漠化を抑制し、持続可能な環境を確立するための革新的なソリューションについて、参加者との来場者に奨励し、刺激を与え、情報を提供することを目的としています。

そして、2027 年にはいよいよ横浜市で国際園芸博覧会が開催されます。花博は A1、B、C、D の 4 つの区分があり、横浜での花博は最上位の A1 に分類される大規模の博覧会です。勿論、神奈川県でもかねてより開催に向けた支援を進めてきており、今回の視察は、本県における開催の施策推進の調査をするためにカタール政府より招待を受けて派遣されました。

実際に足を運んでみると、広大な土地に各国のパビリオンが並び、綺麗な花が所狭しと展示されている様はとても圧巻で、現地の方だけでなく世界中の観光客で非常に賑わっていました。私も、これまで花博に対して漠然としたイメージしか持っていませんでしたが、平和の象徴であり、国際交流の場でもある花博が横浜市で開催されたら観光客や教育旅行の誘致だけでなく、環境政策の進展にも大きく繋がっていくはずです。

横浜での開催は 3 年後となりますが、これから博覧会の成功に向け、さらなる機運醸成を図るとともに、市町村や県立高校、企業、団体、NPO など幅広い関係者と連携し、オール神奈川で盛り上げ、多くの人が参加したいと思える博覧会にしていきたいと思います。



【2027 年国際園芸博覧会の概要】

- 開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（横浜市）
- 開催期間：令和 9（2027）年 3 月 19 日～9 月 26 日
- 博覧会区域：約 100 ha
- 参加者数：1,500 万人（ICT 活用等の多様な参加形態を含む）
- テーマ：幸せを創る明日の風景
(Scenery of the Future for Happiness)

